

地球惑星科学委員会IUGS分科会IAH小委員会 (第26期・第2回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和8年1月5日(月) 13:00~14:45

2. 会 場 ZOOMによるオンライン会議

3. 出席者

杉田 文, 谷口 真人, 徳永 朋祥, 益田 晴恵, 柏谷 公希, 榊原 厚一,
嶋田 純, 中川 啓, 西垣 誠, 宮越 昭暢, 安原 正也
(全てオンライン参加)

3. 議事要旨

(1) IAH日本支部の活動について

柏谷幹事より, IAH日本支部の2025年度活動報告と2026年度活動計画が説明された。学生会員を対象とした学会参加補助制度については積極的に周知することが確認された。

(2) IAH2025大会の報告とIAH2026大会について

柏谷幹事と中川委員より, IAH2025メルボルン大会の会期や参加者数, 若手を対象としたイベントの状況などについて報告された。委員より, (現在進められているIAH大会の日本誘致を想定して) 企業展示ブースについては多くの参加者の目に触れるよう設置場所について配慮した方がよいとの意見が出された。また, IAH2026ブダペスト大会の会期や会場などについても紹介された。

(3) IAH2029年大会の日本誘致について

谷口委員長より, IAH2029年大会の日本誘致について, 誘致の目的や意義, これまでの準備状況と今後のスケジュール, IAH2025メルボルン大会におけるIAH執行部との打ち合わせの内容, 収支の概算などについて説明された。

委員との議論を通して, 本小委員会は関連学会から日本学術会議に共催を申請する際の窓口となること, 現状収支には含めていないが, 自治体や企業からの支援も模索する予定であること, 誘致活動への政府観光局や県のサポートも活用すること, 誘致に関するプレゼンテーション資料や動画については必要に応じてIAH日本支部予算による外注を検討すること, ネットワーキングをテーマとし, 各地域, 国の代表者に発表してもらうようなセッションの開催を検討すること, 開催地である関西周辺の大学, 関係者にも協力を打診すること, 今後案を作っていく上で情報共有を密にすること, 社会情勢により対面開催が困難となった場合の対応策をIAH本部との協定を結ぶ際に明確にしておくべきであること, 会期前後の巡検や講習会など

のイベントについては希望があれば別予算として企画することなどが確認された。

(4) その他

特になし。

以上